



自転車を“背負って”運搬、を輸行の新しい普通にしたい。
折りたたみ自転車をハンズフリーで運べるリュック型輸行袋「SHOEL（ショエル）」発売。

ビーズ株式会社（所在地：大阪府東大阪市、代表：大上響）は2018年6月14日、同社自転車ブランド「DOPPELGANGER(R)（ドッペルガンガー）」より、折りたたみ自転車を背負って運べるリュック型輸行袋「極小径車輸行リュック DCB463-BK SHOEL（以下、ショエル）」を発売します。

「背負える（せおえる・しょえる）」が名前の由来となる「ショエル」は、背負子（しょいこ）の構造をベースに、袋に入れた自転車をリュックのように担いで輸行できる製品です。肩に掛けるショルダー型が輸行袋の主流といえますが、両肩で背負うリュック型にすることで、様々なメリットが生まれます。

1. 幅を取らない

従来のショルダー型輸行袋であれば、改札を通る時、構内や車内が混雑している時など、大きく幅を取ってしまいます。「ショエル」ならその幅を最小限に抑えることができ、周囲にも迷惑をかけにくく、スマートな輸行が可能となります。

2. 負担を両肩に分散

自転車は小さい折りたたみのものでも、約10kg前後の重さがあり、それを片方の肩に掛けて移動するにはなかなかの負荷がかかります。「ショエル」はリュックと同じで両肩に負担が分散されるため、移動も楽におこなえます。

3. 両手が空から荷物が持てる

従来の輸行バッグでは、運搬の際に手で支えなければ揺れるため、自転車以外の手荷物を最小限に留める必要がありました。しかし自転車を背負える「ショエル」を使えば両手が空いため、別途手荷物を持ち運べます。

逆に、輸行を終えていざ自転車を取り出し乗車する際には、「ショエル」を簡易な背負子としても使用可能。手荷物だけでなくダンボールのような大きな荷物さえも「ショエル」で背負うことができます。ニーズや場面に応じてフレキシブルに自転車と荷物を入れ替えれば、効率良く輸行・移動が可能です。

「ショエル」本体は、背中への自転車の凹凸が干渉し不快にならないよう、10mm厚の発泡ポリエチレンを背部に挿入しています。揺れを抑えるチェストストラップやウエストベルトも備えました。また自転車を入れるためのメッシュバッグが標準付属。中身が不審物ではなく自転車である、と周囲に示せます。16インチまでの折りたたみ自転車に対応します。

ショルダー型や手提げ型に加え、昨今ではリュック型も普遍となったビジネスバッグのように、輸行袋においても、自転車を“背負って”運搬するスタイルが珍しくなくなることを、DOPPELGANGERは「ショエル」を通して狙っています。



概要



【ブランド名】DOPPELGANGER（ドッペルガンガー）
【商品名】極小径車輸行リュック SHOEL（ショエル）
【型番：カラー】DCB463-BK：ブラック
【サイズ】背負子：高さ110cm×横幅30cm、輸行袋：高さ95cm×横幅90cm
【重量】背負子：550g、輸行袋：250g

【対応車種】折りたたみ極小径車（16インチ以下）
【静止耐荷重】20kg（背負子）
【材質】ポリエステル・ポリエチレン
【希望小売価格】6,500円（税別）
【製品ページ】<http://www.doppelganger.jp/option/dcb463/>

<このプレスリリースに関するお問い合わせ>

- Eメールでの弊社プレスリリース配信をご希望の場合は、お手数ではございますが下記メールアドレス宛にその旨をご連絡いただけますようお願いいたします。
- 映画・TVプログラム・誌面づくりの撮影用小道具として、またイベントでの使用等、製品の貸出、プレゼント企画につきましても、お気軽にお声掛けください。



ビーズ株式会社
be-s Co., Ltd.

[担当] 熊谷未央(くまがい)、久堀梯子(くほり) [Tel] 050-5306-1902(広報直通)
[住所] 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号 [E-Mail] pr@be-s.co.jp [お問い合わせフォーム] [こちら](#)